

第68回大岡越前祭俳句大会席題表彰者一覽表

令和5年4月29日

順位	賞		総得点	得点句番		受賞句		住所	氏名					
21	7	7	7	2	5	6	1	茅ヶ崎	粕谷説子					
20	7	7	7	6	103	42	163	海老名	大澤秀子					
19	8	6	7	6	85	114	56	横浜	沼宮内薫					
18	8	7	8	3	5	7	1	中井	長谷川昭放					
17	8	7	8	7	1	3	5	川崎	荒理依子					
16	8	5	8	3	5	5	4	茅ヶ崎	東花梨					
15	9	5	9	5	4	1	8	茅ヶ崎	日高朝代					
14	9	1	9	1	8	9	1	茅ヶ崎	宇野弘子					
13	10	1	10	9	1	4	7	茅ヶ崎	北詰隆美					
12	11	4	11	4	7	7	6	座間	鈴木幸子					
11	13	7	13	7	6	9	4	茅ヶ崎	三浦博美					
10	13	9	13	9	4	9	5	小田原	田中幸子					
9	14	4	14	4	10	7	8	大井	中村昌男					
8	14	4	14	4	10	3	13	茅ヶ崎	碓百合子					
7	15	3	15	3	13	10	6	寒川	菅沼保幸					
6	16	168	160	168	160	59	9	茅ヶ崎	松田ます子					
5	16	59	9	59	9	72	1	平塚	石黒和風					
4	17	60	10	60	10	138	124	南足柄	加藤かほる					
3	17	7	12	7	12	10	17	厚木	北村純一					
2	19	138	124	65	16	65	16	茅ヶ崎	川島智子					
1	27	65	16	65	16	65	16	茅ヶ崎	西岡青波					
席題	賞		総得点	得点句番		受賞句		住所	氏名					
	茅ヶ崎市文化団体協議会会長賞 神奈川県俳句連盟会長賞 茅ヶ崎俳句連盟会長賞		27	17		うららかなや縁側で梳く姑の髪 静寂に重さありけり落椿 麗らかなや風もポストをのぞきこむ 麗らかなやひらがな気分になつてくる 畦塗つて土の匂ひをふくらます 麗らかなや一会のあいさつ散歩道 春風のようなあいさつ登校児 余生なほ俳句ざんまい春うらら 検診後くるくる廻す春日傘 うららかなや波にことばのあるような 風になるふらこ宇宙にかかるまで 麗かや優しき人と居る余生 大仏の厚き手の平若葉風 春愁やグラスに残る紅の色 帽子手に駆けてくる彼うららけし 花は葉に余生は時の流れ急く うららかなや首から歩く庭の鶏 川下へ風を道連れ麗けし 葱坊主道草して五人組 うららかにイケメンゴリラ笑ひけり 尾緒上げ風に飛び込む鯉のぼり 口遊ぶ句友の名句うららけし 月おぼろ下駄音だけの妻籠宿かな 大空と大河に鯉の競泳会 麗らかなや昼寝の猫に子の添寝 身の文を生きる幸せ昭和の日 うららかなや呼び覚したる好奇心 七十年戦火なき国うららけし 晩鐘に足を早める花遍路 うららかなや亀はごろごろ甲羅干し 真夜に聞く貨物列車の行く臈 呑舟を夢見し小鮎句ひ立つ 少年に羽化の兆しや磯うらら 麗らかなやダリの時計が動き出す 遍路笠ひたすら歩む求道かな うららかなやゆるりゆるりと赤い鯉 子を膝に落花をくぐるすべり台 うららかなや声出して読む友の文 存分に空に落書き揚雲雀 麗かや双子の嬰の大あくび 丸い背丸く抱いて若葉風		24	18 6		全快の妻のハミング春ショール うららかなや音痴を詫びるバスガイド		茅ヶ崎	清水吞舟
	麗らかな			麗らかな		麗らかな								
	当季雑詠			当季雑詠		当季雑詠								